

第2学年 音楽科学習指導案

は組 男子17名 女子18名 計35名
指導者 濱田 宏明

1 題材 2びょうしと3びょうし

教材	◎「トルコこうしんきょく」	ベートーベン	作曲		
	◎「メヌエット」	ヘンデル	作曲		
	「いるかはざんぶらこ」	東 龍男	作詞	若松正司	作曲 (本時主教材)
	「山のポルカ」	美龍明子	作詞	チェコ	民謡

2 題材について

(1) 題材の位置とねらい

これまでに子どもたちは、第1学年題材「りずむをかんじて」において、体を動かしながらリズムよく歌ったり、2拍子と3拍子の違いを感じ取ってリズム遊びをする活動を通して、曲に合わせてリズム奏をしたり、曲の気分に合わせてリズムよく体を動かしたりすることの楽しさを味わってきている。さらに子どもたちは、リズムや拍子の違いを生かして歌ったり、演奏したりしたいという欲求が高まってきている。

そこで、ここでは2拍子と3拍子の曲を聴き比べて拍子の違いについて話し合ったり、リズムを観点にして互いの演奏を比較しながら表現したりする活動を行っていく。それらの活動を通して、リズムや拍子の違いなどの面白さを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して表現・鑑賞する能力を育てるとともに、**リズムを合わせることに関心をもち進んで表現しようとする意欲や、曲の気分にあふさわしい表現を工夫する能力を高めることをねらいとして**、本題材「2びょうしと3びょうし」を設定した。

ここでの学習は、ラテンのリズムの特徴を基に、表現の工夫をする能力を育てる題材「リズムにのって」の学習へと発展していくこととなる。

(2) 指導の基本的な立場

リズムや拍子の違いなどの面白さを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって表現・鑑賞する能力を高めるには、リズム唱やリズム打ちに親しみながら、リズム感を十分にそだてていくことが効果的である。特にこの期の子どもたちには、範奏を聴いて楽しんで模奏させたり、リズム譜を見ながら、体や楽器によるリズム打ちをさせたりすることで、リズムに対する感覚を十分に身に付けるようにすることが大切である。

具体的には、まず、「トルコこうしんきょく」「メヌエット」を取り上げる。これらの曲は、2拍子と3拍子の拍子の違いだけでなく、曲の気分も勇ましさと優雅さをはっきりと聴き取れる楽曲である。そこで、二つの曲を聴き、それぞれの曲のよさや面白さを出させたり、それぞれの曲に合うように体を動かしたりする活動を通して、曲の特徴や、拍子の違いの部分を意識して鑑賞することの面白さを実感させる。

さらに、「いるかはざんぶらこ」を取り上げる。この楽曲は、軽快な3拍子の拍の流れやリズムを感じ取りやすい楽曲である。そこで、リズムに関する**音楽遊びを取り入れたり、曲に合わせて体を動かしたり手拍子したりすることで、3拍子を感じ取らせるようにする**。また、打楽器を使い強拍と弱拍とを分けてリズム打ちしたり、バンブーダンスを取り入れたりすることで、3拍子の拍の流れにのって歌うことができるようにする。

さらに、「山のポルカ」を取り上げる。この曲はポルカの軽快なリズムをもつ旋律で、原曲はチェコで歌われている民謡である。そこで、2拍子の拍の流れとリズムを体を動かす活動を通してとらえ、それらを生かして旋律を演奏したりリズム伴奏を工夫したりすることができるようにする。

このような学習を通して、リズムや拍の流れを中心とした音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りながら目指す表現に向かって表現したり鑑賞したりすることへの関心・意欲を高め、よりよ

い表現をつくり上げるために創造的に音楽とかかわっていこうとする態度を養うことができる。

(3) 子どもの実態（調査対象 2年は組 男子17名 女子18名 計35名）

本学級の子どもたちの実態は次の通りであった。

①	リズムによって歌ったり、体を動かしたりすることは好きですか。
	はい(33) いいえ(2)
②	その理由を教えてください。(複数回答)
	<p>【「はい」の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい(21) ・心もリズムにのる(2) ・色々なリズムがある(1) ・体動かすのが好き(5) ・元気になる(1) ・手拍子の音がいい(1) ・おもしろい(2) ・友だちと一緒にできる(1) <p>【「いいえ」の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むずかしい(1) ・リズムを叩いたり声に出したりしないといけないから(1)
③	曲を聴いてリズムを感じ取るために、どんなことに気を付けますか。(複数回答)
	・曲をよく聴く(15) ・手拍子する(3) ・体を動かす(3) ・変化に気を付ける(1)
④	「○○○・」や「○・○・」のリズムに合わせて手拍子をしましょう。
	・リズムに合わせて手拍子できる(34) ・手拍子できない(1)
⑤	「しろくまのジェンカ」に合わせて体を動かしましょう。
	・「○・○・○○○・」のリズムを感じて体を動かせる(34) ・体を動かせない(3)

①②から、リズムによって歌ったり、体を動かしたりすることの楽しさを多くの子どもが感じている。一方「好きではない」と答えた子どもたちは、リズムに合わせて体を動かしたりすることに難しさを感じていたり、リズムを声に出すことに抵抗を感じていたりする。これは、**リズムという観点に十分着目して、表現・鑑賞できず、リズム唱やリズム打ちの継続的な経験が十分でなかったり、リズムに合わせる楽しさを感じ取れたりしていないことが要因である**と考える。

また、③から、リズムを感じ取る上で、範奏によく耳を傾けることの重要性を捉えている子どもが多いことが分かる。しかし、音楽を聴きながら、手拍子をしたり、体を動かしたりするというリズムの感じ取り方に気付いている子は少ない。これは、拍の流れの中から強拍と弱拍を感じ取ったり、リズム伴奏やリズム唱をしたりする活動を通してリズムや拍の流れを十分に感じ取れていないことが要因であると考えられる。

④⑤から、リズムに合わせて手拍子したり体を動かしたりすることは、ほとんどの子どもができていない子どもについては、自分が叩いたりするリズムについては理解していても、拍の流れに十分のれていなかったり、旋律とリズムの区別についての理解の不十分さが要因であると考えられる。

(4) 指導上の留意点

ア 課題把握・課題追求Ⅰの過程では、リズムや拍の流れから生まれる曲の気分の違いや面白さを感じて鑑賞することができるようにしていく。そのために、二つの曲を、音楽を形づくっている要素を観点に比較をさせ、共通点や相違点を話し合ったりする場を設定する。

イ 課題追求Ⅱの過程では、3拍子の曲を聴き、拍の流れやリズムを観点に、そこから醸し出されるよさや面白さ、美しさを感じ取って表現することができるようにする。また、**音楽遊びを取り入れ、リズムに合わせて二人組で手拍子をしたり、バンブーダンスをしたりすることでリズムに十分着目させ、その面白さを感じ取る場を設定する。**

ウ 課題追求Ⅲの過程では、2拍子の曲のリズムについて着目させ、リズム唱やリズム打ちをすることで曲の感じに合う演奏の仕方を探っていく活動を取り入れる。また、旋律とリズム伴奏を重ねる活動を取り入れ、旋律とリズムの違いを感じ取ったり、重ねる楽しさに気付かせていく。

3 目 標

(1) リズムに合わせて表現する楽しさを味わい、拍の流れにのっているかを振り返りながら、進んで活動に取り組むことができる。

(2) リズムや拍の流れなどを感じ取りながら、歌詞の内容、曲の気分にあふさわしい歌唱表現を工夫し

たり、曲の気分にあふさわしい手拍子や体の動かし方を工夫したりすることができる。

- (3) リズムや拍の流れなどの面白さを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いたり歌ったりすることができる。

4 指導計画 (全9時間)

過程	思いや意図を連続・発展させる心の高まり	教材	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
課題把握	拍子によってこんなにも曲の感じが変わるんだな。	「トルココラウシンギョク」「メヌエット」	音楽に合わせて、体を動かしながらかきこう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2拍子と3拍子について視覚的にも理解できるようにするために、指揮の簡単な図形を図示する。 ○ 主旋律に親しみをもって聴いたりリズムを感じたりすることができるように、主旋律の簡易楽譜を用意して口ずさんだり、鍵盤ハーモニカで演奏したりさせる。
課題追求Ⅰ	もっと2拍子や3拍子の曲を聴いたり歌ったりしてみたいぞ。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 2曲を続けて聴いて共通点や差異点について話し合う。 ○ それぞれにあう体の動かし方を話し合う。 ○ 2拍子と3拍子の違いを感じ取りながら曲に合わせて体を動かす。 	
課題追求Ⅱ	3拍子に合わせて手拍子したりリズム伴奏したりするのは楽しい。	「いるかはざんぶらこ」 ②③④	3びょうしをかんじながら、リズムのうたおう。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ リズムに重点をおいて活動できるよ「この曲にはどんなリズムが隠れているかな」と発問し、自分なりの解決の方法を考え、根拠をもとに自分の意見を出させる。 ○ 3拍子の「強迫・弱拍・弱拍」の感じを大切に。一人でリズムを打ち分けたり、二人組になって強迫・弱拍を分けて演奏したりする活動を取り入れる。
課題追求Ⅲ	2拍子を感じて演奏すると曲の感じが出たよ。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱をきいて話し合う。 ○ 手拍子をしたり体を動かしたりすることによって3拍子の拍の流れリズムを感じ取る。 ○ 3拍子の拍の流れリズムのうたおう。 	
まとめ	これから曲を聴くときは2拍子や3拍子じゃないか確かめて聴いてみたいな。もっと色々なリズムで歌ったり演奏したりしたい。	「山のポルカ」 ⑤⑥⑦⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3びょうしを感じ取りながらリズム伴奏をしよう。 ○ 3拍子の拍の流れのうたおう。 ○ 二人組で強迫と弱拍に分かれてリズム伴奏したり、3人組でリズムに乗ってバンブーダンスをしたりする。 ○ 楽しくおどっているようすをおもいうかべてうたおう。 ○ 階名唱する。 ○ グループごとに分担奏する。 ○ 相互発表・鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3拍子のリズムのおもしろさを感じ取れるよう、音楽遊びやバンブーダンスの活動を取り入れ、子どもたちがリズムに着目できるようにする。 ○ ふしの中のリズムに気付くことができるように、拡大楽譜を用意し、リズム打ちやリズム唱をさせるようにする。 ○ リズム伴奏の楽器の組み合わせの面白さに目を向けることができるように、範奏を聴いた後、どのような楽器でえんそうされていたか、どんな感じがしたかを話し合うようにする。 ○ 主なふしとリズム伴奏の音量バランスに気を付けて表現を練り上げることができるようにするために、交代で聴き合ってバランスについて助言し合うようにする。

5 本 時 (2 / 9)

(1) 目 標

3拍子の拍の流れやリズムを感じ取って演奏することに関心を持ち、リズムに合った手拍子や体の動かし方を工夫し、拍の流れに合わせて曲の感じが出るよう歌うことができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時では、課題の明確化を目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、よさや面白さを十分に感じ取って活動できるように、曲を聴いた後に、拍の流れやリズムについて着目できる発問をする。さらに、手拍子や指揮、体を動かすことによって解決の方向性を見出し、自分なりの考えを根拠を基に出し合い、話し合う活動を取り入れる。

(3) 実 際

過 程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
音楽遊び	1 リズム遊びをする。  リズムに合わせて体を動かすって楽しいな。	(分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習を振り返るために、リズム譜をもとに手拍子したり、リズム唱したりするリズム遊びを取り入れたたり、「トルコ行進曲」や「メヌエット」の一部を鑑賞させ何拍子だったか想起させる。 ○ 子どもたちが視覚的にも3拍子について理解できるように、プロジェクターで2～4拍子の指揮図形やリズムを示し、それと照らし合わせながら鑑賞する場を設定する。 ○ リズムに重点をおいて活動できるよう「この曲にはどんなリズムが隠れているかな」と発問し、手拍子や指揮をしたり、リズムを感じ取って体を動かしたりする活動をさせ、それを根拠に自分の意見を出し、話し合う活動を取り入れる。 ○ 音楽活動の仕方を学ぶ力を育てるため、一人でリズム打ちするときと、みんなでリズム打ちする場を設定し、二つの場合を比較させ、良かったことや分かったことについて発表させる。 ○ 自分たちの高まりを感じ取らせるために、旋律把握時の歌を撮影しておき、リズム打ちや体の動かしを取り入れた自分たちの演奏と比較し、演奏後に変った点を挙げさせる。 ○ 本時の学習を生かしながら次の学習に取り組みさせるために、バンブーダンスの紹介をし、子どもたちの思いや願いを高める。
課題把握	2 範唱を聴き、曲に対する思いをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 何拍子の曲なのかな。 ・ 手拍子してみたたら3拍子だと思ったよ。  楽しく明るい感じの曲だね。体を動かしたくなるよ。 	10	
課題追求	3 本時の学習について話し合う。 3びょうしをかんじながら、リズムにのってうたおう。		
旋律把握	4 3拍子のリズム打ちや、体の動かし方について考えながら歌う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">音楽を形づくっている要素を基に比較・関係づけ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">拍子</p>  2拍子や4拍子の指揮だと合わないよ。「000・」や「0・0・」のリズムとも違うね。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">リズム</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">  1人だとリズムが正しいか分からない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">  みんなでやると、合っているかどうか分かるし楽しいね。 </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1人で</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペアやグループ</div> </div>	27	
表現の工夫	5 相互発表・鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3拍子に合わせて歌ったりリズム打ちをしたりすることができた。 ・ みんなで体を動かしたり、リズムを打ったりすると楽しいね。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1人で</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペアやグループ</div> </div>		
相互発表・鑑賞	6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3拍子の曲ってリズムがおもしろいな。もっとこのリズムで体を動かしたり演奏したりしてみたいぞ。 </div>	8	
まとめ			